

特集・協議会活動

道東技術士協議会



道東技術士協議会の活動

北海道技術士センター 道東技術士協議会 会長
技術士（建設部門） 小野 中

道東技術士協議会発足当時の名簿を見ますと、十勝、釧路、網走、いわゆる道東地区に在住する技術士の数は二十名に満たないものでありましたが、専門部門は七部門に及んでおり、なかなかバラエティーに富んでいたようです。

当時（昭和55年）釧路の環境コンサルタント株式会社社長の濱口龍司（機械部門）さんが故西原六郎（応用理学部門）さんなどと相談されて、あの苛酷な筆記試験を突破された方々がそれぞれ専門分野の話題を持ち寄って交友の場を持つよう考えてみてはどうかということになり、協議会の発足となったようです。

当初の規約では、道東地方に在住する技術士、技術士補を会員とし、資格者は自動的に入会するものとなっており、年1回以上開催することとなっている総会は、もっぱら事務局がある釧路で行われていました。

平成2年に濱口さんに替わって小野（建設部門）が会長に就任しましたが、当時もまだ技術士17名、技術士補で総会参加を希望するもの6名で極めて纏まりの良い協議会でありました。

特に諸官庁の技術士が顧問として総会に参加され、目玉事業の説明などをしていただけるので有意義な総会を続けて来たと思っております。

平成8年にはセンターとして初めて「地方公共団体職員とのセミナー」を札幌の地以外で実施することとなり、道東地区での実施と決まりました。

協議会で種々議題を検討しましたが、当地区が地震常襲地であり、平成5年に発生した釧路沖地震においても当地域特有の被害が発生して、その対応に多大の苦労をした経験がありましたので、『地震に強い「まち」づくり』を主題として10月9日にセミナーを開催しました。

セミナーの準備責任者として痛感したことは、地方公共団体職員と技術士との合同セミナーであるに

拘わらず、道の出先機関の一部に全く無関心のものがあり、道出身の会長として残念な思いをしたことであります。

釧路地区、網走地区の自治体では、地震発生時の相互応援体制がすでに確立されており、セミナーへの参加も誠に積極的でありました。特に、開発局の特段の支援が得られて成功裡にセミナーを終了することができありがたいことであります。

最近是有資格者も増え現在62名に達しておりますが、総会の出席者は常時十数名に止まり、特に談合問題が取りざたされて以来、官庁関係者の出席が望めなくなりましたので、一抹の淋しさを感じております。

最近は管内技術士の数も急増し、釧路市と帯広市で一度ずつ二度実施する総会・懇親会への案内状も相当な数になっております。

従前、出席を望めなかった網走地区が、昨年より別の協議会として発足した関係があるにせよ、総会への出席者は極めて限られた者にとどまっております。

毎度お馴染みなので、二次会に走るにはまことに好都合ではありますが、いささか淋しい気がしております。

法の追加改正によって、技術士の資質向上など社会的責務が重く求められてきている中で、支部又は支部と協議会の共催による各種セミナーが本地区で開催されたとしてもどれ程の参加者が望めるのか、甚だ心許ない状況にあるのが実態です。

特に談合問題、接待問題などが取り沙汰されてから、官庁関係者の方の出席が困難となり、何か充実味を欠いた会の運営を余儀なくされておりますが、早期の復活を切に願って稿を閉じます。

【入会申込先】

〒080-0011 帯広市西1条南22丁目3番地
平田技術コンサルタント(株) 上野博司
電話 0155-24-6233 FAX 0155-22-4199